



知っておきたい

# 松江市名誉市民



名誉市民章

松江市では、市民又は本市において縁故の深い方で、公共の福祉の増進や文化の進展に寄与した方を「松江市名誉市民」とし、その功績を称えています。現在24名の方にこの称号が贈られています。シリーズで1名ずつ紹介していきます。郷土の誇りとして、いつまでも私たちの心に刻んでいきたいですね。

## 第7回 岸清一氏 【1867~1933】(昭和33年5月3日 顕彰)



写真：『松江市勢要覧』より転載

松江市雑賀町で生まれる。雑賀小学校を卒業すると、松江中学に入学。明治16年、中学を卒業した翌年上京した。同18年東京帝国大学法学部に入學、同22年優秀な成績で卒業した。

翌年、弁護士の免許を受け事務所を開業、9年後にはアメリカ、イギリスに留学、弁護士としての地位を確立、大正4年には東京弁護士会会長に選ばれた。

中学時代は剣道で頑丈な身体をつくり、大学では漕艇に熱中し法科三羽鳥の一人と称された。

大正10年、第2代大日本体育協会会長に就任。同13年には、国際オリンピック委員会委員に任命された。岸は、日本選手団を率いて3回のオリンピックに参加、国際競技会における日本スポーツ界の地位向上に尽力した。また、第12回東京大会（戦争のため中止）の誘致につとめたが、その実現を見ないうちに他界した。「近代日本スポーツの父」と呼ばれる。

郷土愛が深く、島根県体育協会創立、岸運動場や末次プール建設など島根のスポーツ振興に貢献、出雲育英会を創設し進学困難な学生に学資を給与するなど、後進の育成につとめた。松江に帰省の度に、母校を訪れては子ども達に講話をした。

### 岸清一博士が子どもたちに語った言葉

どんなしごとでもよい。日本一をめざしてひたすらどりよくしなさい。からだをきたえ、心を見がきなさい。しっかりとべんきょうしなさい。

【島根の人物ものがたり】島根県国語教育研究会 編著/日本標準 より

**2020東京オリンピック**  
**パラリンピック**

4年に一度のスポーツの祭典、  
2020東京大会をみんなで応援しましょう!!

	東京2020オリンピック	東京2020パラリンピック
開会式	7月24日(金)	8月25日(火)
閉会式	8月9日(日)	9月6日(日)
競技数	33競技	22競技
種目数	339種目	539種目

**参考にした資料など**

オリンピック・パラリンピック  
まるごと大百科  
真田 久 監修/学研プラス

島根県体育史  
島根県体育協会

島根の人物ものがたり  
島根県国語教育研究会 編著/  
日本標準

しらべよう! かんがえよう! オリンピック1  
しているようでしない五輪  
ニック・ハンター 原著 稲葉  
茂勝 翻訳・著/ベースボール  
マガジン社

12の問から始めるオリンピック・  
パラリンピック研究  
坂上康博 編著/かもがわ出版

16歳から知るオリンピックの軌跡  
清水ひろし 著/彩流社

総合百科事典ポプラディア  
ポプラ社

大百科事典 平凡社

1964東京五輪聖火空輸作戦  
夫馬信一 著/原書房

〈東京オリンピック〉の誕生  
浜田幸絵 著/吉川弘文館

東出雲の響  
島根県八束郡東出雲町

3つの東京オリンピックを大研究  
1~3巻  
日本オリンピック・アカデミー 監修/  
岩崎書店

東京オリンピック・パラ  
リンピック競技大会組織  
委員会 ホームページ

日本オリンピック委員会  
ホームページ

\*編集にあたり島根県体育協会様にご協力いただきました。

CHIDORI  
No.106

松江市立図書館報  
編集・発行/松江市立中央図書館  
〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44  
☎(0852)27-3220  
2020年3月発行  
https://www.lib-citymatsue.jp/  
E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp



写真：島根県庁前

写真：「島根県体育史」  
島根県体育協会 編集発行 より転載

### 岸清一博士銅像 (高さ3.6メートル)

岸清一博士をたたえ、昭和10年島根県庁前に銅像が建立されましたが、戦争のため金属供出されました。この銅像は、昭和39年念願であった東京オリンピック開催を記念して再建されたもので、同年9月オリンピック開幕前におこなわれた除幕式には、ブランドー・ジョIOC委員長も参列され花輪を供えられました。

### 内容

- 表紙 岸清一博士銅像
- 見開き オリンピックを彩る聖火リレー
- 裏表紙 郷土の葉 松江市名誉市民シリーズ「岸清一氏」  
2020東京オリンピック・パラリンピック



## 聖火・聖火リレーについて

オリンピックの理念である「平和と人類愛」を象徴する聖火は、古代オリンピックがおこなわれていたギリシャのオリンピアで、太陽光をレンズで集めて採火されます。その炎はリレーによってオリンピック開催地まで運ばれ、開会式典でメインスタジアムの聖火台に点火された後、大会期間中灯し続けられます。

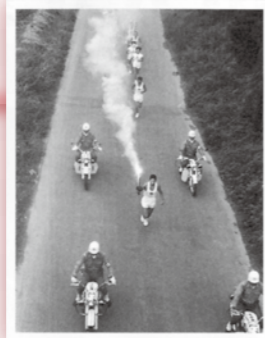
開会式典を飾る聖火リレーは、1936年の第11回ベルリン大会からおこなわれるようになりました。

## 1964年の聖火リレー

1964年8月21日、ギリシャ・オリンピアで採火された聖火はアテネまでリレーされました。そして聖火を運ぶための特別な飛行機「シティ・オブ・トウキョウ号」に移された聖火は、11か国を経由し9月7日沖縄の那覇空港に到着しました。聖火は2日間かけて島内をめぐり、再び飛行機で鹿児島、宮崎、北海道へ運ばれました。その後、聖火は4つのコースに分かれて全国をリレーしながら東京を目指しました。

4つのコースの総区間は4,374区間、総距離は6,755km。16歳～20歳の男女から選ばれた聖火ランナーは、トーチを持つ正走者1名、副走者2名、随走者20名からなり、10万713名にのぼりました。

聖火リレーの最終ランナーは、広島に原爆が投下された1945年8月6日広島で生まれた坂井義則さん。坂井さんは平和の大切さをうたえたとともに、戦後復興の象徴としてその大役を務めました。



昭和39(1964)年9月24日  
聖火が東出雲町を通過  
写真：『東出雲の響』島根県八束郡  
東出雲町 編集発行 より転載

## 島根を駆け抜けた聖火

第1コースを進んだ聖火は、9月21日に県境赤名トンネルで、広島県から島根県に引き渡されました。赤来町で1泊し、翌22日には頓原町、掛合町、三刀屋町、出雲市、斐川町、宍道町、玉湯町、そして松江市に到着。歓迎式の後、県庁の貴賓室で2泊した聖火は、24日の朝、東出雲町、安来市を走り、県内79区間138kmを無事にリレーしました。

島根県の聖火リレーには、正走者79名 副走者158名 随走者1,580名 計1,817名が参加しました。

# オリンピックを彩る 聖火リレー

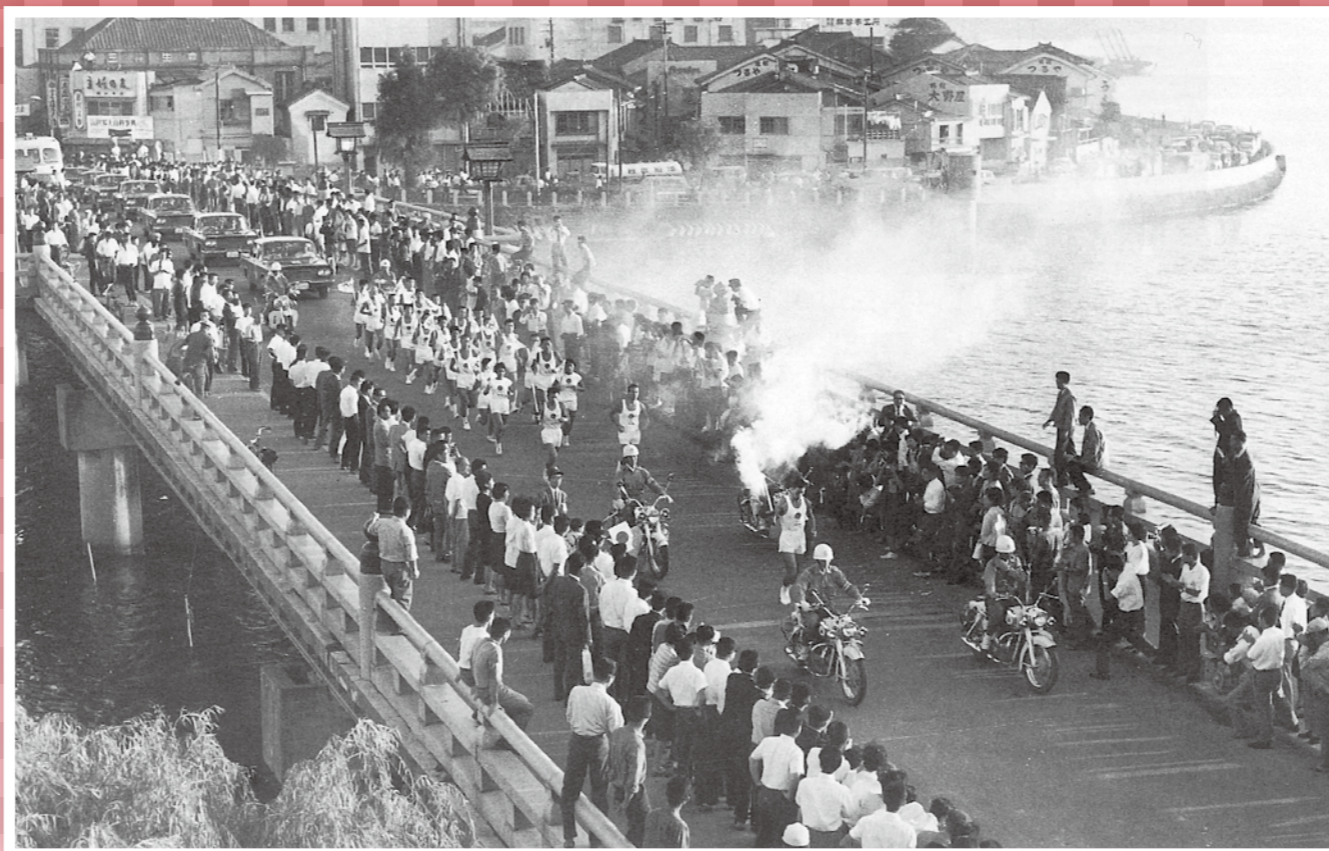
いよいよ2020年夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。

1964年、初の東京オリンピックから56年がたちました。2度目の開催を前に、日本選手団の活躍が期待されています。そして、オリンピックの象徴である「聖火」が再びわたしたちの街にやってきます。

## Q クイズに挑戦!

東京2020オリンピック聖火リレーで使われるトーチは、ある花の形がデザインされています。その花は次のどれでしょう?

- ① 梅 ② 椿 ③ 桜



写真：『島根県体育史』島根県体育協会 編集発行 より転載

## A 答え ③ 桜

炎が出る部分が、日本人になじみ深い桜の花の形をしています。長さは71cm、重さは1.2kg、色は桜ゴールド。材料の一部に、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材が使われています。

## 東京2020オリンピック聖火リレー

2020年3月12日、ギリシャのオリンピアで採火された聖火は、第一走者に引き渡されギリシャ国内リレーがおこなわれます(8日間)。その後、聖火は飛行機で運ばれ3月20日、宮城県の航空自衛隊松島基地に到着します。聖火リレーに先立ち、3月20日～25日までの間、宮城県、岩手県、福島県の順で聖火が展示されます(「復興の火」展示)。そして3月26日、東日本大震災から復興へ向けて進んでいる福島県から聖火リレーはスタートし、121日間をかけて日本全国を回ります。

島根県のリレー日程は、5月16日、17日の2日間で、選ばれたランナーが聖火をつなぎます。

16日は津和野町から出発し、知夫村→益田市→浜田市→江津市→川本町→邑南町を通ります。17日は大田市→出雲市→雲南市→奥出雲町→隠岐の島町→安来市を通り、松江市に聖火が到着します。そして松江城で聖火到着を祝うイベント(セレブレーション)がおこなわれる予定です。



## 東京2020パラリンピック聖火リレー

パラリンピック聖火は、イギリスのストーク・マンデビルと開催国の各地で採火される炎から生み出されます。パラリンピック聖火リレーは、ソウル1988パラリンピック競技大会で初めて実施されました。

島根県では2020年8月13日～16日、県内11市町で採火式がおこなわれます。採火された炎は、8月17日松江市で県内集火され出立式の後、東京を目指します。

パラリンピックを応援するすべての人の熱意を集めた炎は、「東京2020パラリンピック聖火」となり、8月21日～25日に東京都で聖火リレーがおこなわれます。

## 1964年聖火リレー 国内4つのコース

- 第1コース 9月9日～10月9日 鹿児島→熊本→長崎→佐賀→福岡→山口→広島→島根→鳥取→兵庫→京都→福井→石川→富山→新潟→長野→山梨→神奈川→東京
- 第2コース 9月9日～10月8日 宮崎→大分→愛媛→高知→徳島→香川→岡山→兵庫→大阪→和歌山→奈良→京都→滋賀→三重→岐阜→愛知→静岡→神奈川→東京
- 第3コース 9月9日～10月7日 北海道→青森→秋田→山形→新潟→群馬→埼玉→東京
- 第4コース 9月9日～10月7日 北海道→青森→岩手→宮城→福島→栃木→茨城→千葉→東京